

◆ 第11回 沼津市中心市街地まちづくり戦略会議

<p>会議次第</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員紹介 3 事務局からの説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) 三枚橋錦町線西側区間の整備に向けて (2) OPEN NUMAZU 2022 ARCADE の実施結果 (3) 沼津市中心市街地まちづくり戦略の情報発信 4 意見交換 5 閉会 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>委員の主な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 中期的な取り組みにおける位置づけが気になる。事業の進捗状況が全体スケジュールの中でわかると、今年度の成果と来年度のやるべきことが明確になる。 ● まちづくりの WEB サイトの製作は画期的な取り組みなので、魅力あるものにしてほしい。デシディム等を活用することで自治体と市民が継続的に議論する取り組みができれば、議論が可視化されてよい。 ● WEB サイトについて、開設しても興味がないと見られないため、観光情報など興味がわくような情報とセットで発信してほしい。 ● 三枚橋錦町線西側区間に R5 設置予定のパークレットについて、常設設置を想定した社会実験を検討してほしい。また、街路中央部のゼブラゾーンは余剰空間なので、道路線形を見直せば、パークレットの拡幅も可能となる。 ● 情報発信について、様々な媒体で展開してほしい。また、3次元データをプラト一等に落とし込んで可視化することで、市民が自由に見て意見交換できるような手法もある。 ● 市内各地で様々な取り組みが動き始めており、市民もわくわくする機会が増えている。各地の動きと連携し、ネットワークで広がったり、モビリティで繋がったりすると、市民の期待感が高まるので示してほしい。 ● 風対策のための植樹について、香りを意識するとよい。 ● 鉄道高架化には 20 年～30 年の期間を要するため、その時にまちの中心となる若い世代に対し情報発信し、関わってもらえる方法を考えていかなければならない。 ● 鉄道高架化には時間を要するため、今からまちづくりに取り組み、高架化が完成された際に最大限の効果が得られるように準備してほしい。 ● エリアマネジメント組織について、一過性のイベントでは根付かないため、継続的に集まってもらうことが重要となる。 ● 若い人へアピールし、まちづくりへの参画を促すことが重要。現地に来て仲間を増やしてアクティビティに参加できるような仕掛けがあればよい。 ● 沼津の将来像に関する取り組みなので、高校生に伝えることでまちづくりへの関心が芽生え、大学卒業後に沼津へ戻る可能性もある。また、高校生の地理総合や中学生の総合学習で取り上げてもらえるとよい。 <p style="text-align: right;">以上</p>